

令和4年8月7日（日）たたら炉づくり



①外部用の型枠



②赤土を煉り・・藁を混ぜる



③炉底・・耐火粘土でナベ底状に



④型枠に赤土を入れ固める



⑤外部炉の型込



⑥内部炉完成



⑦外部炉完成



⑧当日の参加者：22名

【岩手日報

(2022.8.10)】



地域スポット

◆大原中生が昔ながらの製鉄炉作り 一関・大原中の生徒ら15人は7日、一関市大東町の砂鉄川たたら製鉄学習館で昔ながらの製鉄炉作りを体験し、地域の歴史文化を学んだ＝写真。

たたら製鉄の継承に取り組むホッパの会(勝部昌平会長)が指導。わらをまぜた赤土を型に入れ、木の棒を使って押し固めて高さ約1.2mの炉2個を形作った。同会の会員が乾燥、成形して1カ月をかけて完成させ、大原小6年生の鉄作りの体験学習で使用す

る。早坂祐垂さん(3年)は「3年前に経験した鉄作りに欠かさない炉を、後輩たちを思って作った。私たちが地元の歴史を後世に伝えていきたい」と力を込めた。

コロナ禍前は、日本大の学生らとの交流事業として炉作りをしていたが、2020年からは地元の生徒らで行っている。

同会の勝部欣一事務局長(76)は「長く続いている地元の歴史を、今後もつなげていきたい」と展望する。

